

陳 情 文 書 表

(子ども若者はぐくみ局)

受 理 番 号	2 3 1 6	受 理 年 月 日	令 和 6 年 10 月 1 日
件 名	保育制度の改善		
要 旨	<p>私たち京都保育団体連絡会法人部会は、京都市の保育園事業の委託を受けている法人有志の団体である。行財政改革によって2022年度より民間保育園への補助金が減額したことで、職員配置及び待遇の再検討が求められ運営に苦勞している。具体的には、昇給ストップ、ボーナスカット、職員の削減、給与表の見直し、積立金の取崩し等を実施せざるを得ない状況となっている。子育て環境日本一の京都市のスローガンは画餅になりつつある。京都市内の子供・保護者・保育者が、保育は京都市でと思えるような保育環境の整備を進めることを願う。</p> <p>ついては、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国の保育制度の改善が京都市の全ての保育園等で反映されるよう、京都市の保育制度を改善すること。 <ol style="list-style-type: none"> ① 2023年度保育園等の公定価格は5.2パーセントアップした。京都市独自の人件費単価にも反映させ、5.2パーセント引き上げること。今後も国の引上げ率を京都市単価にスライドさせること。 ② 2024年度より国の職員配置基準が引き上げられた。京都市の独自負担が軽減した費用を全ての保育園等に配分すること。同時に、京都市独自の配置基準を更に引き上げること。 2 民間保育園等の職員の昇給保障財源について、勤続年数11年での上限を改め、勤続年数に応じた財源保障とすること。 3 広島市、静岡市、大阪市等では、4月から9月まで定員分の保育士が確保できるように運営費が補助されている。4月時点で保育士配置がかなえられると、年度途中での保育士募集に窮することなく、安定した保育ができるため、民間の保育園等の定員割れ対策として、定員払い制（在籍児童数ではなく定員に基づく運営費給付）を実施すること。 		
陳 情 者			
回 付 委 員 会	文教はぐくみ委員会		